

江別市地域公共交通計画(案)に対する
意見公募(パブリックコメント)の結果と市の考え方について

(意見募集期間:令和5年4月19日から令和5年5月19日)

令和5年6月

江別市 企画政策部 政策推進課 (公共交通担当)

意見公募(パブリックコメント)の結果概要

■意見の募集結果

募集期間	令和5年4月19日から令和5年5月19日
提出者数	6人
提出件数	10件

■意見の反映状況

区 分		件数
A	意見を受けて案に反映するもの	0
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	2
C	案の変更はないが、今後の参考等とするもの	8
D	案に反映しないもの	0
E	その他の意見	0
合 計		10

■寄せられたご意見と市の考え方

(ご意見につきましては、可能な限り原文のとおりとし、受付順に掲載しております。)

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
1	<p>江別市は札幌近郊のベッドタウンであり、JRの駅からのバスへの乗り換えは充実しています。市営バスなどを敷設しなくても十分に民間の力でカバーできていると思います。ただ市外から来られた方がよく、乗り継ぎに戸惑い、割高なタクシーを利用してしまおうという声も聞かれます。国土交通省はタクシーも公共交通と位置づけていますから、利用されるのは一市民として歓迎しますが、もう少しバスの乗り場や発車時刻などについて、詳細にわかりやすく書かれた案内書のようなものが駅や商業施設など、人通りの多い場所で配布されると、より充実した利用ができると思います。</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針1「持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上」の、施策項目「公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化」の中で、鉄道主要駅での乗り継ぎ改善と情報充実化を推進することとしており、市内の主要駅である江別駅・野幌駅・大麻駅などにおいて、行き先や運行時刻などをわかりやすく発信していくよう検討してまいります。</p>	B
2	<p>市内便、特に江別2番通線は1時間に2本にすべきです。上りだと電車(JR線)への乗継をかくほをとる必要があります、下りだとJR線又は他の市内便、他社便からの乗継をかくほをとる必要があります。2番通線は夜9時まで増やすべきです。(上下とも) もちろん、5・60の江別・新札幌線も夜10時まで上下とも1時間に2本にすべきです。</p>	<p>現在、バス路線については、コロナ禍の影響等もあり、利用者が大きく減少しており、事業収益も落ち込んでいる現状にあります。さらに、運転士不足が深刻化しており、既存路線や便数の維持がますます難しい状況となっております。 そのため、江別市地域公共交通計画(案)の基本方針1「持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上」の、施策項目「公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化」の中で、バス路線及び運行ダイヤ等の見直しを推進することとしており、市民の利便性とバス事業者の採算性のバランスを踏まえた運行経路やダイヤ等の見直しを検討してまいります。</p>	C
3	<p>冬季で、大雪又は雪害策で運休した場合は、定期券所有者に対し運休日数分の返金のお知らせを各バス停に貼って啓発すべきです。(JRバスでは、こうした取り組みを行っている)</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針2「誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり」の、施策項目「公共交通に関する基本情報の整理及び提供」の中で、バス路線に関する情報などを発信・提供していくこととしており、いただいたご意見につきましては、今後のバス事業者を含む関係者との協議の際の参考とさせていただきます。</p>	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
4	<p>私が住む文京台南町は、近年大沢口付近まで行っていた夕鉄バスの便が一日2便と大幅減便となったり、JRバスも新さっぽろ行き循環バスが1時間に1本となり大変不便になっています。</p> <p>江別市の地域公共交通計画の資料をみると、近年の公共交通利用が減っているのが、コロナウイルス感染のためと書いてありましたが、実際はこのような減便になるバス会社事情があると思います。</p> <p>2年前の春にJRバスのダイヤ改正で循環バスの回り方が片一方に偏りがあり、南町住民が大麻駅に行きづらいものになり大変不満があがりました。そこで地域有志でJRバスに申し入れた結果、一年後のダイヤ改正時に改善されました。江別市もバス路線を見直すことをバス会社と話し合うならば、地域の細やかな要望を聞くことが大事かと思えます。</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針1「持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上」の、施策項目「公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化」の中で、バス路線及び運行ダイヤ等の見直しを推進することとしております。</p> <p>個々の見直し対応については、様々なケースや条件があることから、市でもそうしたご意見を伺いながら、バス利用実態やアンケート調査等の結果も考慮しつつ、市民の利便性とバス事業者の採算性のバランスを踏まえた運行経路や運行ダイヤ等の見直しを関係者等と検討してまいります。</p>	B
5	<p>またその中で、高齢者の方の公共交通(バス)利用についていろいろ意見がだされました。一つは高齢者交通費助成についてです。バスがすべて新さっぽろに向かうため、江別市内に行くのに乗り継ぎになり時間とお金がかかります。自動車免許を返上した高齢者世帯をはじめ、自家用車をもたない年金者世帯からの強い要望がありました。</p> <p>交通費助成があると気軽に外出できて、バス利用も増えると思います。江別市の江別路線を走るバスに助成金をだされているみたいですが、バス会社に直接助成するより少しでも交通費助成として利用者に支援した方が利用者が増えると思います。</p> <p>交通費助成についても、例えばタクシーチケットかバス運賃が選ぶことができるとか、70歳以上は初乗り100円にするとか(文京台南町から道立図書館に行くのに100円なら毎日通いたいとの要望も)、札幌のように一定の金額を払って助成を受ける方法もあると思います。</p> <p>他に、コミュニティバス(以前大麻、文京台を回っていたバス)の復活を要望する声もありました。ぜひ、ご検討お願いします。</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針2「誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり」の、施策項目「関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善」の中で、高齢者等の移動支援について検討していくこととしており、いただいたご意見につきましては、今後の関係者との協議の際の参考とさせていただきます。</p>	C
6	<p>高齢者等の移動支援について、2045年には人口の約4割が高齢者になると推計されていることから、早急に支援の充実が求められていると思います。今でも「バス停まで歩いていくことができず、タクシーを使わざるを得ない」、「免許を返納したくても買物や通院のことを考えると返納できない」など切実な声を地域の中からもよく聞きます。支援の1つに、高齢者の方が安心して外出できるよう交通費の助成が必要だと思います。今回の計画の中に、バス代やタクシー代の補助についても入れていただきたいと思えます。</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針2「誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり」の、施策項目「関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善」の中で、高齢者等の移動支援について検討していくこととしており、いただいたご意見につきましては、今後の関係者との協議の際の参考とさせていただきます。</p>	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
7	<p><バス路線に不満> 私が住んでいる ゆめみ野東町は、JRバスが運行していますが、高砂・野幌方面に行くのは朝6:30、6:51、7:23発の新札幌行のみで、8時～20時までの便は全て江別市立病院間との循環線となります。従って、高砂・野幌方面に行く場合は江別駅で乗り換えが必要(JR鉄道、JRバス、中央バス、夕鉄バス)で、乗り換え料金が必要となり、待ち時間も必要となります。更に、土・日・祝日は全便運休で一本も走らないのです。自動車運転免許証の返納が考えられません。全国や道内でも、町バス的な乗物(バス、マイクロバス等)が運行されている自治体がありますので、是非ご検討を。</p> <p>私どもの地区から江別駅は2～3kmぐらいですから、春～秋は自転車利用もあり、乗車人数が少ないし、直行便でない為、今のままでは変化はないと思います。但し、冬は自転車利用が不可能なので、新札幌や北広島発の江別駅行の便を「ゆめみ野」まで終点を延ばすべきです。</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針1「持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上」の、施策項目「公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化」の中で、新技術や新たな交通モード等の導入に向けた研究を推進することとしており、高齢者等の移動支援も踏まえつつ、既存の公共交通を補完もしくは連携が図れるよう、新たな知見等について検証してまいります。</p>	C
8	<p><江別駅前の改善を> 以前、江別駅のすぐ前にJRバスの乗降場があったのですが、それがなくなり、自家用車輛の乗り入れ場になってしまいました。バス3社の乗降場所も様々です。駅前にバスセンター(札幌、新札幌など)のような施設又は雨除けの付いた共用バス停を作つてはどうでしょうか。JRとも関係するので大変だと思いますが、北広島駅のように改札が2階部分になり、4～5方向から入る事が出来、エレベーター、エスカレーター、階段、スロープ有り。東口、西口のバス停には雨除けが付いています。</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針2「誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり」の、施策項目「関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善」の中で、新たな待合所などについて検討していくこととしており、既存の民間施設等の活用も含め関係者等と協議を進めていきたいと考えております。</p>	C
9	<p><高齢パスについて> JRバスは、65歳以上になると、札幌、小樽、江別エリアの間の路線バスは「おでかけパス」という定期券(4,000円/月)で、その区間は、このパスで乗り放題です。但し、江別には売場が無いので、新札幌(1番近い所)の売場で購入しなければなりません。江別市在住の高齢者に何かこのようなものを利用し、特に免許証を返納しようとする方には特に考えていただければと思います。</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針2「誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり」の、施策項目「関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善」の中で、高齢者等の移動支援について検討していくこととしており、いただいたご意見につきましては、今後の関係者との協議の際の参考とさせていただきます。</p>	C
10	<p>高齢者の割合が増えてきています。通勤・通学者だけを頼りにする公共交通は、少子化の時代でもあり、成り立たないと思います。高齢者が利用しやすい制度をつくるのが重要です。以前、大麻駅を起点とした巡回バスは、1回100円の利用料金、バスの路線外を運行したこと、わかりやすい時刻表など、私の周りでは好評で、利用者もたくさんいました。それが、途中でできた施設従業員のため、路線変更し、わかりやすかった時刻表が、難しくなり、自然と利用が減りました。また、冬季間、道が狭くなり、普通の路線バスでは走行が困難になることも多くなっていました。比較的細い道路でも走行できる小型バスにすることで、バス停から遠い地域も回れる、時刻表もわかりやすくする、料金は一定にする、ことを考えていただければと思います。</p> <p>次に、高齢者への交通費助成があれば、利用者は増えると思います。コロナもあり、家にこもりがちな高齢者たちが、せっかくだから、公共交通を利用しようとする動機付けにもなるはず。高齢者の利用で、バス乗車率を上げることを検討してはどうでしょう。</p>	<p>江別市地域公共交通計画(案)の基本方針2「誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり」の、施策項目「関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善」の中で、高齢者等の移動支援について検討していくこととしており、いただいたご意見につきましては、過年度の巡回バスの実績等も含め、今後の関係者との協議の際の参考とさせていただきます。</p>	C